

化学的アプローチを用いたがんの新規診断法および治療法の開発

## 1. 研究の対象

2025 年 1 月 1 日から 2030 年 3 月 31 日までにかんが手術を受けられ、「Cancer Cell Port がん細胞バンクの構築」の研究に同意いただいた方のうち、がんと診断された方

## 2. 研究目的・方法

がん治療成績向上のためには個々の患者由来のがんに応じた効率的かつ副作用のない治療法の開発が急務です。我々はこれまで不飽和アルデヒドであるアクロレインが様々ながん細胞において普遍的かつ高濃度で発現していることを発見し、さらに細胞実験や動物実験において、アクロレインを介した薬剤活性化法を実施するがん治療法を開発してきました。そこで本研究では、大阪国際がんセンターが所有するがん組織を用いてアクロレインの発現を確認します。そして、上記組織から作成した腫瘍モデルを用いて薬剤の効果を検証します。

研究期間:所属機関の長の研究実施許可日～2030 年 3 月 31 日

## 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報: 病歴、病理診断名

試料: 手術で摘出した組織

## 4. 外部への試料・情報の提供

外部への提供はありません。

## 5. 研究組織

研究責任者

大阪国際がんセンター 消化器外科 (肝胆膵外科) 後藤邦仁

解析責任者

大阪国際がんセンター 次世代がん医療開発センター 吉田恵一

試薬の作成

理化学研究所 田中生体機能合成化学研究室 田中克典

## 6. 研究の資金源等、研究に係る利益相反に関する状況

研究責任者および研究分担者には、開示すべき利益相反はなく、本研究の利益相反は、当センターの利益相反委員会にて適切に管理いたします。また、本研究の結果について学会や論文等で発表する場合は、本研究と関係がある企業との全ての利益相反について適切に開示します。

## 7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、  
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。  
また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出  
ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

<照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先>

研究責任者

大阪国際がんセンター 消化器外科（肝胆膵外科） 後藤邦仁

住所：〒541-8567 大阪市中央区大手前3-1-69

電話：06-6945-1181

研究代表者：大阪国際がんセンター 消化器外科（肝胆膵外科） 後藤邦仁

-----以上